

三晃精機(奈良県大和高田市)は、トラックや建設機械のエンジン始動用バッテリーを主軸に、高齢農家の省力化に貢献できる農業用資材を開発・販売する。バッテリー開発で培った技術を生かし、2015年に発売した電動運搬車は、20度の傾斜地でも楽に物を運べるとして、果樹農家を中心に約50台を販売。高齢農家の負担を減らし、やる気を取り戻す原動力に一と、主力商品として売り込む。

1960年に旋盤メーカーとして設立。主に自動車関係の専用工作機械を製造していたが、62年ごろに刈り払い機のチップソー用研磨機「サンクラインダー」を発売、農業資材業界に参入した。現在の主力商品であるエンジンスター「バッテ

## 高齢者の営農支援 省力化機器開発に注力

リカ」は、笛岡元信社長が偶然、トラクターのエンジンが掛からず困っていた人を見掛けたことから生まれた。農機は冬場は使わず、兼業農家は休日しか使わない。エンジンスタートーを使えば、当時は手間が掛かっていた作業前の充電作業から解放されることから、「売れに売れた」そうだ。

農機、自動車、大型トラック、建機とさまざまなエンジン用の「バッテリカ」を開発したことでの「バッテリーエンジン開発技術が培われた。農業のどこにニーズがあるのかつかめてきた」(笛岡社長)という。

この経験から生まれた製品が、中山間地向けの電動運搬車だ。最大100kgの重量まで積め、持ち手に付いたボタンで前進・後退ができる。一輪車、三輪車、

クローラー式の3種類を販売。高齢化で離農が進む中山間地に元気を与える製品として、次の主力商品にしていきたいと意気込む。

「バッテリカ」の技術で、当時に比べ5倍のパワーが出るバッテリーを開発。斜度20度の斜面でも登つていただけるほどになった。柿産地の奈良県下市町に試作機を貸し出したところ、町長から「高齢農家が『まだやれるぞ』と元気になった。町に活気が戻った」と伝えられたという。

この他、ゴム製で果皮に傷が付きにくいブルーベリーリンゴ用の「バッテリカ」も開発された。この商品は、高齢農家が130kgがあり、立ったまま葉物野菜の根元を刈り取れる簡易収穫機なども販売する。収穫機は腰を曲げないと刈れると、高齢農家に人気の隠れたヒット商品

### 三晃精機(奈良)



電動運搬車を持つ笛岡社長(奈良県大和高田市で)

■会社概要=1960年、旋盤メーカーとして設立。資本金4000万円。従業員8人。

■所在地=〒635-0034 奈良県大和高田市東三倉堂町7の13、(電)0745(52)0025。

## 会社フォーカス

**話題の商品**  
畠幅や条間自由に  
広間口無柱ハウス  
クボタ  
柱のない鉄骨の単棟ハウス「広間口無柱ハウス」を販売する。骨材を三角形に組むトラス構造にして強度を高めることで、3、4倍ごとに1本必要だった柱をなく

盆・彼岸時期の仏花需要に向い、各社が相次いで、トルコギキョウ品種を発表した。7月上旬に開催の展示会では、白、ピンク、紫の

## 盆・彼岸



カネコ種苗の「ジュリアスライトピンク」

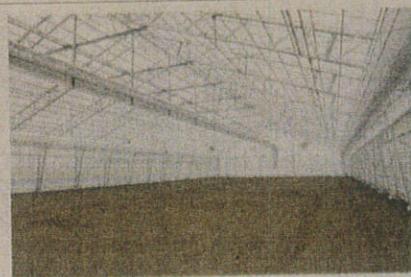


サカタのタネの無花粉トルコギキョウ

越しでもワイド  
りやすい。中生  
かよりも1週  
が遅い。問い合わせ  
部、(電)06(6)  
877。

**タキイ**  
吉

### 業界トピック



動物用イソジン販売を引き継ぐ  
DSファーマ  
アニマルヘルス  
殺菌消毒薬のイソジンの開発元で商標を持つ、米国系製薬会社のムンディファーマ(東京都港区)は8月1日を目処に、消毒剤の動物用イソジン